

Japaneseman In NY (ニューヨーク生活)



Photo : COLONY, New York

《ニューヨークのレコード屋さん》

今回はニューヨーク生活でお世話になったレコード屋さんの話。近年、日本でも嘗てLPレコードやアナログレコードと呼ばれて親しまれたレコードの人气が復活しており、性能の良いレコードプレイヤーも安く手に入るようになった。CDが配信に取って代わっていく時代の流れの中、レコード専門店として頑張っている店もあり、決して無くしてはならない文化だと思っている。

ニューヨークで生活していた頃は、CD全盛期でアップパーウエストにもW66丁目にタワーレコード、W72丁目にHMVがあり、頻りに足を運んだ。タワーレコードはダウン

タウン、HMVはアップパーイーストにもあり、数は少なかったがLPレコードも置かれていた。タワーレコード、HMVといえば、嘗てはアメリカ全土に広く店舗を構えていたが、縮小、撤退が進み、店舗が現存するのは日本だけかもしれない。当時の隆盛からすると信じられない状況だが、これも時代の流れだろう。

レコード専門店では、タイムズスクエア付近に「COLONY」というレコード専門店があり、夕方からのウェイターの仕事に向かう前にちよちよ訪れていた。「COLONY」は結構広い店で、今では懐かしいカセットテープの他、楽譜なども売られていたため、ブロードウェイで働くミュージシャン達の御用達の店だったようだ。店内で楽器を抱えた人達を見かけることが多かった記憶がある。

ブリーカー・ストリートには「Bleecker Bob's Records」の他、「Village Music World」「Rebel Rebel Records」というレコード屋さんがあり、散歩がてら時々足を運んでハジゴした思い出がある。今ではネットオークションやアマゾンなどで簡単に検索出来る、簡単に手に入るが、当時は棚に並ぶレコードを端から端まで1枚1枚引き上げたり、引き出したりして丹念に見て回った。探していたレコードが見つかった時の興奮はネットでは味わえないものだった。

その他、トンプソン・ストリートに「Generation Records」というレコード屋さん。イースト・ヴィレッジには「Gimme Gimme Records」や「A-1 Records」というレコード屋さんもあった。また、W26丁目にジャズのレコード専門店として有名な「Jazz Record Center」があったが、残念ながらこの店には訪れたことはなく、ニューヨークから引き上げて来た後に存在を知った。当時はまだパソコンなど使っていた人はごく限られており、スマホも携帯もなく、インターネットなど普及する前の時代だったから仕方ないと諦めている。

ここで挙げた店の中には既に閉店してしまっている店も多いようだが、あえて閉店の時期や閉店したかどうかについては触れていない。正直な気持ちとしては、触れたくない。今でも時々当時のことを思い出すことがあり、自分の記憶や夢の中では今でも当時のままのレコード屋さんとして生き続けているから。

Hawaii Walker's (ハワイの歩き方)

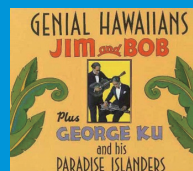
Mele Mei

メレ・メイ

今回は2011年から毎年5月にオアフ島、マウイ島、カウアイ島、ハワイ島等、ハワイ各地で開催されているハワイアンミュージックイベント「メレ・メイ」。「メレ・メイ」＝「音楽の5月」と称され、HARA（ハワイ・アカデミー・オブ・レコーディング・アート）主催により、ワークショップの他、ハワイの音楽と文化にスポットをあてた様々なイベントがハワイ各地で行われる。ハワイ版グラミー賞『ナ・ホク・ハノハノ・アワード』もこの「メレ・メイ」のメインイベントとなっている。音楽ファン必見のイベント！

Facebook : <https://www.facebook.com/melemei/>

《ハワイな一枚》



Genial Hawaiians

Jim & Bob plus George Ku and his Paradise Islanders
Grass Skirt : GSK-1005

戦前に活躍したハワイアンの名手ジム&ボブとジョージ・ク・アンド・ヒズ・パラダイス・アイランダーズの音源をカップリングしたアルバム。全24曲収録。